

「はい、私もこの年で身体が思うようにならなくなったので、今のうちに弘法大師のお開きになった高野山にお詣りしたいし、できれば高野山で死にたいと願っております。これから出掛けるところです。」

と答えたところ老人は、

高野山よそにはあらい下荒井

三鈷の松の法の朝風

という歌を歌ったんだと。仁範は足を止めて

「有難うございます。恐れ入りますが三鈷の松はどこにありましたでしょうか。」

と尋ねたんだと。老人は

「その松はあなたの寺の境内にありますよ。これからはあなたの寺を松命山蓮華寺清浄院

と呼びなさい。」

と言って姿を消してしまっただと。